

子供宝也 No.5

平成 26 年 4 月 25 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

定時退勤日：月曜日午後 5 時

先日、兵庫県教育委員会から通知が届きました。教職員の勤務時間の適正化について努力するようにとの内容でしたが、保護者の皆様にもお知らせしたいと思います。下の文は、その中身です。

■教職員定時退勤日の実施にあたって

平成 24 年度に兵庫県教育委員会が県内の小・中・高等学校及び特別支援学校を対象に実施した「教職員勤務実態調査」の結果は、教員の平日 1 日あたりの平均労働時間は 10 時間 46 分となっており、時間的・精神的負担が増大していることが判明しました。

そこで、兵庫県教育委員会では、昨年度より、週 1 回以上の「教職員定時退勤日」を県内すべての学校において設定・実施するよう。各市町教育委員会に依頼しています。

「教職員定時退勤日」の実施により、教職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実施することで、すべての教職員が精神的なゆとりを持って、一人一人の児童・生徒に向き合うことのできる環境づくりを進めることとしています。

先生の仕事は、「ここまでやったら終わり」といった性格のものではありません。「這えば立て、立てば歩めの親心」とよく言いますが、先生もまさにそんな気持ちで、日々子どもたちの教育に取り組んでいます。

『授業がなかなかうまくいかないなあ。ああすればよかったかな。こうすればよかったかな。今日は、子どもたちが活発に活動できたぞ。明日は、こうやれば、もっといい授業になるかも…。』

こんなことばかりを考えている毎日です。

「定時退勤日」については、本校も実施してまいりましたが、今年度より特別な場合を除いて、徹底していきたいと考えています。毎週月曜日をその定時退勤日とし、午後 5 時には全教職員が退勤するように心がけてまいります。

ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

あいさつがきちんとできる子に！！

「武庫東小学校の 5 つのきまり」のなかに、『明るく元気なあいさつや返事をしよう。』というのがあります。本校では、数年前まで、登校時に先生が門の所に立ち、「おはよう！」と声をかけていました。

しかし、集団登校の際、道にいっぱい広がったり、高学年が低学年をおいていたりといったことがあり、先生は、校区に出て登校指導をするようになりました。すると、なんだかあんまりいいあいさつができなくなったような気がしていました。そこで、今年度はもう一度、もとにもどすことにしました。週に一度は登校指導をしますが、今の重点は「あいさつ」になっています。

最近、とってもいい挨拶ができるようになってきたゾ！と思っています。やっぱり、気持ちのいいあいさつは、心も気持ちよくなりますね。「あいさつ日本一」になったらいいなと思います。